

(別紙)

## 地域サポート計画(新規就農者向け)

(令和4年3月現在の情報)

都道府県名	沖縄県	市町村名	那覇市	問合せ 窓口	(組織名) 那覇市経済観光部商工農水課 (住所) 沖縄県那覇市泉崎1-1-1	(電話) 098-951-3209 (メールアドレス) K-SYOU001@city.naha.lg.jp
-------	-----	------	-----	-----------	---	--

### 第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方等、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)		
	令和3年度		令和2年度		平成31年度			平成30年度	
		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下
新規就農者数(必須)	1	1	0	0	0	0	1	1	・目標値は農業経営基盤の強化促進に関する基本構想の目標値を設定。 ・内訳の目標値は設定していない。
内訳									
新規参入者数	1	1	0	0	0	0	1	1	
新規自営農業就農者数	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規雇用就農者数	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1: 「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。  
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2: 「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3: 「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	就農前から就農開始までの相談を行政・JA・農業者で一貫サポートします。
地域と農業の紹介文	農業は南城市の基幹産業で、農業産出額は県内でも屈指の水準となっています。その中でも野菜の栽培が盛んで、さやいんげんやオクラ、ゴーヤーなどが主要な作物です。また畜産業では生乳や鶏卵、豚肉が多く生産されており、農業産出額の大半を占めています。このほかに、肉用牛や果樹、花きの生産も行われています。
主な農産物	インゲン、オクラ、ゴーヤー、マンゴー、薬用作物、畜産など
地域が求める新規就農者	今後地域の農業を担っていくために、地域との交流を大切にし、本気で農業に取り組む方

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	指導農業士(2名)、南城市農業委員、JAおきなわ	販路支援	南部農業改良普及センター
農地確保支援	南城市農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構	生活に係る支援 (住居、子育て等)	南城市産業振興課、指導農業士(2名)
機械・施設等の確保支援	JAおきなわ、南城市産業振興課	事務局・全体調整	南城市産業振興課
資金相談	南城市産業振興課、南部農業改良普及センター	その他(〇〇)	
農業者による指導	指導農業士(2名)	その他(〇〇)	

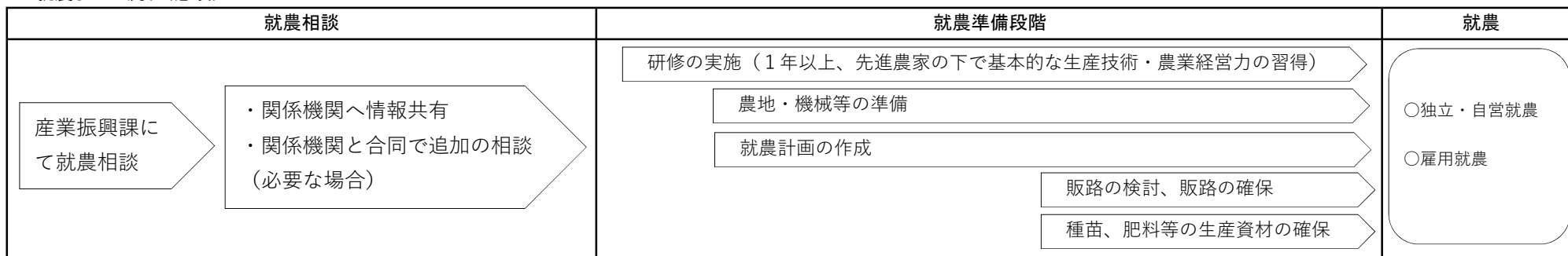
3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	○ 就農・移住相談対応、就農相談会の開催	・毎年年度初めに新規就農説明会を開催しています(令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため未開催)。 ・就農相談に関しては、随時南城市産業振興課にて受付しています(事前に電話でのアポイントをお願いします)。
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	
	○ ホームページ、パンフレット等での情報提供	・新規就農者への説明会資料を毎年更新し、ホームページにて公表しています。また、同資料は産業振興課にもありますので、必要な方は産業振興課に来訪ください。
	その他	
就農前の支援	○ 研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	・県の研修機関(農業大学等)もしくは先進農家のもとで1年以上の研修経験がない方には研修を案内しています。研修先に関しては南部農業改良普及センターと連携して相談体制を取っているため、産業振興課にご相談ください。
	○ 就農計画作成サポート	・市の産業振興課にて作成支援を行っています。必要に応じて、南部農業改良普及センターや南部地区営農振興センター、農業会議所の新規就農担当へ案内することもあります。
	○ 農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	・農業委員会や農業振興公社と連携して農地探しのサポートを行います。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	<input type="checkbox"/>	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	関係機関と新規就農者に向けて経営力向上のための講座を開催します。(不定期)
	<input type="checkbox"/>	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	・規模拡大のための農地探しも引き続き農業委員会や農業振興公社と連携してサポートしていきます。
		販路確保、販路開拓に向けた支援	
	<input type="checkbox"/>	地元農家や地域住民との交流促進の取組	農業者で組織するJA青壮年部や南城市農業青年クラブなどで様々な交流や情報交換をすることができます。
		生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	
		その他	

注: 地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

#### 4 就農までの流れ(必須)



5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	250 万円	年間労働時間	1,400 時間
------	--------	--------	----------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	インゲン	20 a	2.5 t/10a	売上 570 万円	専従 1 人	1,400 h/年	青色申告の実施
	オクラ	20 a	2.0 t/10a	経費 320 万円	パート 2 人		
				所得 250 万円			
主な施設・機械等	ハウス	1 棟		1 台		台	
		式		1 台		台	
		台		1 台		台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

--

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

